

みやぎ財政運営戦略（第3期）の取組成果について

財政運営戦略

- 宮城県では、令和3年度から令和6年度の4年間を計画期間とする「みやぎ財政運営戦略（第3期）」を策定し、「財政の健全化と持続可能な財政運営の実現」と「富県躍進に向けた予算重点配分の実現」を目標に定め、歳入確保と歳出抑制対策を進めています。
- また「実質公債費比率、将来負担比率の安定推移」と「県債残高の適正管理」を達成指標に掲げています。
- 令和5年度の取組成果と達成指標の状況については、以下のとおりです。

（単位：億円）

取組成果 (R5)

取組の内容	財政運営戦略策定時のR5取組見込み額	R5決算における取組効果額
(1) 歳入確保の具体的取組	4	52
① 安定した歳入基盤の確保	2 ・ 広告掲載等の一層の充実：1億円	33 ・ 広告掲載等の一層の充実：2億円 ・ ふるさと納税のさらなる活用：31億円
② 県有資産の活用	2 ・ 未利用地の売却・貸付：1億円 ・ 特別会計等の資金活用：1億円	19 ・ 未利用地の売却・貸付：11億円 ・ 特別会計等の資金活用：7億円
(2) 歳出削減の具体的取組	7 ・ 予算削減率設定等の継続：6億円 ・ 職員の働き方改革等の推進：1億円	31 ・ 予算削減率設定等の継続：29億円 ・ 職員の働き方改革等の推進：1億円
合計	11	82

※四捨五入のため、積み上げと計が一致しないことがあります。

達成指標の状況

実質公債費比率

財政規模に対する公債費等の倍率

R3	11.2%
R4	10.6%
R5	10.3%

将来負担比率

財政規模に対する将来負担額の倍率

R3	146.9%
R4	144.2%
R5	135.3%

県債残高の適正管理

標準財政規模に対する県債残高の割合

R3	183.5%
R4	186.9%
R5	184.1%

※将来負担額＝将来にわたり県が負担する地方債等の償還額等

※臨時財政対策債を除く

- 歳入確保・歳出抑制対策については、策定時の効果額を上回る効果をあげることができました。
- 達成指標についても、安定して推移しています。